

【内部質保証】（学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び学生の受け入れ方針を策定するための全学的な基本方針）

愛知大学 3つのポリシーを策定するための基本方針

愛知大学及び愛知大学短期大学部では、入学者選抜から学位授与までの一貫した教育活動を実施するため、3つのポリシー（学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー））を策定するための基本方針を下記のとおりとする。

1. 策定方針

- ・ 3つのポリシーに、本学の建学の精神である「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」と、学則に定める教育研究上の目的（愛知大学学則第1条及び第2条の2、愛知大学大学院学則第2条及び第6条の2、愛知大学専門職大学院学則第2条、愛知大学短期大学部学則第1条及び第2条の2）を反映する。
- ・ 3つのポリシーを通して、本学の教育内容を本学学生及び教職員を始め、本学に関心を持つ様々な関係者（多様な入学希望者、保護者、高等学校関係者、地域社会、国際社会、産業界等）の方々に広く周知し、十分に理解できるよう、より具体的で分かりやすい文章で表現することを心掛ける。
- ・ 策定単位において、3つのポリシーの一体性・一貫性・整合性に留意して策定する。
- ・ 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいた学修成果の評価を行う指針として、3つのポリシーとは別にアセスメント・ポリシーを策定する。

2. 位置付け

- ・ 3つのポリシーを本学の教育活動の基本とし、教育の質向上に係る自己点検・内部質保証活動の中心に位置付ける。
- ・ 3つのポリシーは、教育の質向上に係る自己点検・内部質保証活動の中で常に見直しを行い、ポリシーそのものの質を向上させる。

3. 相関性

- ・ 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は、卒業までに学生が身に付けるべき資質・能力と、それを達成するための具体的な教育課程の編成・実施、学修成果の評価の在り方等を示すものであるため、一体性・整合性をより強く保つよう策定する。
- ・ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、入学希望者に対し、卒業認定の要件や入学後の学修に要する資質・能力等に照らして、入学に際して求められる基礎的な知識の水準や専攻分野への関心・意欲・態度などを示すものであるため、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）と一貫性ある内容とする。

4. 策定単位

- ・ 3つのポリシーは、それぞれ大学全体の方針に加え、学部及び短期大学部においては学科単位、大学院及び専門職大学院においては課程及び専攻単位に作成する。なお、その単位の内複数学位を授与している場合は、学位単位の記述を原則とする。

5. ポリシーごとの内容

①学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・ 「何ができるようになるか」に力点を置き、どのような学修成果を上げれば卒業を認定し、学位を授与するのかという方針をできる限り具体的に示す。
- ・ 学生の進路先等社会における顕在・潜在ニーズも十分に踏まえた上で策定することを心掛ける。
- ・ 教育の質向上に係る自己点検・内部質保証活動の起点とし、学修成果の評価に係る基準を示すものとし、学生が身に付けるべき資質や能力の目標を明確にする。

②教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえた教育課程編成、当該教育課程における学修方法・学修過程、学修成果の評価の在り方等を、能動的学修の充実等、大学教育の質的転換に向けた取組の充実に重視しつつ、具体的に示す。

③入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

- ・ 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえつつ、「学力の3要素」を念頭に置き、どのような学生を求めているか（入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきたか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられるか）など、多様な学生を評価できるような入学者選抜の在り方について、具体的に示す。
- ・ 必要に応じ、入学前に学習しておくことが期待される内容についても示す。
- ・ 入学者選抜において、同方針を具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのか、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うのか等を具体的に示す。

以 上